

患者の皆様へ

2021年6月2日
薬剤部

現在、薬剤部では薬物の脳内移行性に関する検討を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2019年9月～2023年12月に脳脊髄液を採取される患者さんを対象として、診療情報や診療に用いた脳脊髄液あるいは定期採血の残液などを利用させていただくことがございます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「数理モデルと血液脳関門モデルを用いたヒト脳内薬物濃度予測法の開発研究」

2. 研究の意義・目的

「薬物のヒト脳内移行性の予測を可能として、安全かつ有効な薬物療法を実現すること」

3. 研究の方法

診療に用いた脳脊髄液あるいは定期採血の残液を用いて薬物の脳脊髄液中濃度および血中濃度を測定します。また、診療情報より得られた検査結果や診療記載を用います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究は、千葉大学・東京薬科大学を共同研究代表機関とし、小野薬品工業株式会社・エーザイ株式会社を共同研究機関とする共同研究として行います。患者さんの検体は千葉大学附属病院外には持ち出さず、患者さんの情報は匿名化して共同研究機関内でのみ共有し、外に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院薬剤部の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力いただけない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をいたしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

共同研究代表機関：千葉大学、東京薬科大学

共同研究機関：小野薬品工業株式会社、エーザイ株式会社

研究代表者：千葉大学医学部附属病院薬剤部 石井 伊都子
東京薬科大学 降幡知巳

本件のお問合せ先：千葉大学大学院 薬学研究院

石川雅之

043(222)7171 内線71330